

## 6次産業化により収益向上に努力

女性グループが中心となって、新たな農産加工品の開発に取り組む。

【類型】 水稻 + WCS用稲 + さつまいも + タマネギ + 飼料作物

【組織名】 農事組合法人 <sup>ふるどの</sup> どんどんファーム古殿（平成17年4月設立）  
＜特定農業法人＞

【所 在】 鹿児島県南九州市

【農業地域類型】 中間農業地域

【構成農家戸数】 59戸



### 【経営規模】

水稻	5ha
WCS用稲	7ha
さつまいも	7ha
タマネギ	1ha
ブロッコリー	1ha
ジャガイモ	2ha、そば 3ha、飼料作物 12ha

## 設立の経緯

- 担い手不足、農業用機械への過剰投資などにより、水田農業が行き詰まる中で、高齢農家の農地貸出し希望も多くなってきた。このため、従来から活動していた機械利用組合をベースに、平成17年に法人を設立（県下初の集落営農法人）。

## 取組の特徴・効果

- 農用地利用改善団体との連携を密にし、担い手の高齢化や労働力不足などにより耕作が困難な農地を積極的に引き受け。
- 各個人の機械更新を抑制して、組織として高性能な機械を導入し、コストを削減。
- 作業には集落農家のほとんどが参加しており、機械作業はオペレーター部会、除草、水管理などの軽作業は女性や高齢者で組織するグループが担当。技術、体力に応じた役割分担を明確化。
- 水稻だけでなく、WCS用稲やさつまいも、タマネギ等の野菜を導入。また、女性グループが中心となって、農産加工品の開発（生甘酒、タマネギドレッシング、味噌など）など、経営の多角化・複合化に取り組む。